

日本史B 科学習指導計画案 (No. 2)

指導教員 _____

- ・日 時 平成19年6月7日(木曜日) 第1時限 実習生 _____
- ・学 級 _____ 生徒数 _____
- ・大 単 元 古代国家と古代文化 中 単 元 平家朝の時代 小 単 元 民衆と古代国家
- ・本時の指導目標 律令政治の展開と民衆生活、農業・住居・家族に変化がもたらした影響について知り、考えよう。
- ・本時の留意点 昔の生活と比べて、考えよう。この時代の生活は多岐にわたる。
- ・準備教材 教具(筆記用具、教科書、ノート)

指導項目	指導内容	学習活動	指導上の留意点	時間
導入	<p>挨拶、出席確認</p> <p>本時の復習</p>	<p>教師のはたらきかけ</p> <p>生徒の学習活動</p>	<p>出席の確認を行う。</p>	10分
展開	<p>教科書 P.10-11 P.12-13</p> <p>用語解説</p> <p>本時の説明</p>	<p>音読と理解の深化</p> <p>グループワーク</p> <p>発表と質疑応答</p>	<p>言葉の正確な理解を促す。</p> <p>グループワークで理解を深め、発表させる。</p> <p>質疑応答を通じて理解を深め、発表させる。</p>	10分
まとめ	<p>振り返り</p> <p>本時の復習</p>	<p>振り返り</p> <p>本時の復習</p>	<p>本時の学習内容を振り返らせる。</p> <p>本時の学習内容を振り返らせる。</p>	10分
評価	<p>本時の復習</p> <p>振り返り</p>	<p>本時の復習</p> <p>振り返り</p>	<p>本時の学習内容を振り返らせる。</p> <p>本時の学習内容を振り返らせる。</p>	5分
備考	<p>本時の復習は、本時の説明が済んだ後、復習の時間を長く取って行う。振り返りに15分程度をとり、本日は、復習を交えながら、本時の説明を復習せよとする。</p>			

日本史B 科 板書計画案 (No. 2)

指導教員 _____

- ・日 時 平成19年6月7日(木曜日) 第1時限 実習生 _____
- ・学 級 _____
- ・大 単 元 古代国家と古代文化 中 単 元 平家朝の時代 小 単 元 民衆と古代国家
- ・本時の指導目標 律令政治の展開と民衆生活、農業・住居・家族に変化がもたらした影響について知り、考えよう。
- ・本時の留意点 新しい漢字が多用で、漢字の読みかたをしっかりと見ることが大切で、丁寧に指導しよう。

〈第1面〉

＜本朝の政変と民衆＞

(1) 農民の生活と家業のあり方

- ① 農業の進歩… 鉄製農具の普及
- ② 住居の変化… 聖代住居 → 面田本朝の平家朝の(独立)住居の普及

③ 家族のあり方

- ・ 宗族… (宗族) [親戚のつながり] → 次第に
- ・ 家族… (家族) [親戚のつながり] → 次第に
- ・ 女性の地位… 宗族の別姓、別居のあり、一服民衆の家族での

【備考】

〈第2面〉

(2) 土地改革の概観

- ① 聖代… 人口増加による田畑の不足、税の増徴が目的
- ② (百万町歩)の開墾計画(722)… 良田を開墾して田畑、農業を
- ③ (三宅一身法)の施行(722)… 「養老元年の法」
- ・ 目的… 民間の開墾による土地の拡大
- ・ 内容… 新田の墾殖施設を設けて本朝の開墾(在場)はなし、旧来の墾殖施設を利用して開墾(在場)は本人一代限り、由緒の承継を認めた

【備考】